

# 公認指導者認定試験・スポーツ塾・シニア振興事業

## 指導者向け 日本 TBG 協会統一ルール説明書

H25/12/7 日本 TBG 協会大和田氏講義説明と日本 TBG 協会競技規則より

1. コンパス方式  
ピタゴラスの定理に基づき、ホールからのコンパスで処理。ホールに近い所での OB は 1 m 以上、下がる場合がある。  
ピタゴラスの定理→「1 辺の 2 乗+1 辺の 2 乗=X の 2 乗」で X を求める
2. ドックレック  
1 打目ドックレックのホールでは 1 打目 OB は全てコーナーに設置する特設ティーから第 3 打でプレーする。(第 2 打目の場合は戻らずホールからのコンパス) コーナーに奥、手前を判断するラインは設けない。
3. シャトルを拾ったらマットは動かさない。(罰打はない)  
(特設ティー、ホールエリアマーク、ティーインググラウンドは除く)
4. 池の処置  
手前に戻って 1 打付加してプレーする。(最後方ではない)
5. バンカーの処置  
ショットマットがセットすると砂に触る場合はニヤレストポイントに移動してプレーする。クラブのヘッドが砂に触れたら 1 打罰。
6. 飛び地  
OB の場合は全て特設ティーより 1 打付加してプレーする。  
セーフの場合でニヤレストポイントが取れない時は手前の島、又はティーインググラウンドに戻ってプレーする。(無罰)
7. セカンドホールは球部の真上から見てフープの上に球部の一部分が重なっていればホールイン。(一打プラス)(触れているだけではインにならない)
8. コース内の樹木等でショット出来ない時はコンパス方式でプレイ。(1 打罰)
9. トロークは正しくクラブを前方に動かす。押し出し、かき寄せ、すくい上げは 2 打罰。1 ストローク中 2 回以上ボールがクラブに当たった時 1 打罰。
10. 誤球は 1 打罰、ティーインググラウンドを間違った時 1 打罰
11. 提出したスコアが間違っていた時は失格 (スコア以外は失格ではない)
12. 定められたホール順にプレーをしない場合は失格

講習会等では統一した言い方で指導をお願い致します。

東京都 TBG 協会 競技委員長 伊藤英彦